

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)伊丹市稲野町計画 南1・2街区 新築工事	階数	地上15階
建設地	兵庫県伊丹市稲野町二丁目2番2	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	2,284 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年11月 予定	評価の実施日	2022年9月22日
敷地面積	16,707 m <sup>2</sup>	作成者	森川
建築面積	4,423 m <sup>2</sup>	確認日	2022年9月26日
延床面積	45,863 m <sup>2</sup>	確認者	萩山

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.7</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 3.2</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.0</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.7</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>環境負荷低減を図り、緑地を整備することで住環境と周辺環境に配慮した計画としている</p>		<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>室内環境向上を目指し、断熱性能向上や遮音対策を施している</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>居室はベッド等の家具がきちんとおける広さの部屋を確保したり、天井高を2.4m以上確保し、機能性に優れた計画としている</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地境界際に緑地帯を設け、周辺環境に対して良好な景観となるよう配慮している</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4を取得することで建物の負荷抑制に努めている</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>有害物質を含まない建材種類の採用を重視している</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>建物利用者のための適切な駐車駐輪スペースを確保し、交通負荷を抑制している</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される